

## SOS ニュース

### < 職場のトラブルとメンタルヘルス >

#### 「産業医 働く人の心も体も守る」

- 職場のメンタルヘルスにおいて、産業医は重要な役割を担っていますが、昨今の増加する社員の不調にどう立ち向かっていくのか、関連記事を拾ってみました。

働く人たちの健康状態が悪化し続けています。定期健康診断の結果から、日本の労働者の半分以上が健康問題を抱えながら働いていることがわかってきました。精神障害に関する労災補償の請求も増えており、多くの企業でメンタルヘルスへの対応が急務となっています。こうした職場での労働者の健康管理を担うのが産業医です。

健康を害する社員が増えれば、必然的に企業の労働生産性も低下します。欧米では、健康管理も企業のリスクマネジメントの重要課題ととらえられており、社員の健康を守るための様々なサービスが提供されています。

日本の産業医はかつて、職業病対策を主に手がけていました。最近では、諸外国と同様に働く人の健康維持・増進に関する様々な問題に対応することを求められています。しかし、国内では労働者の数が50人に満たない事業所には産業医を選任する義務がないため、サービスを受けられない状況にあります。小規模の事業所だと、労働者1人の健康問題が大きな影響を及ぼすようになり、経営上も無視できない課題となっています。